

資料 2 「熊野川河川整備計画の策定に向けて」のとりまとめ方法について

平成19年10月22日(月)

熊野川懇談会

第3回 グループ(合同)会議

資料2 「熊野川河川整備計画の策定に向けて」のとりまとめ方法について

1. 目的および構成について

(1) 目的

「熊野川河川整備計画の策定に向けて」の目的(位置づけ)は以下のとおりです。

- ① 河川整備計画に対する懇談会からの意見の基本的な方向性を示す。
- ② 熊野川流域の現状を整理し、河川管理者や市町村、その他団体が、今後熊野川の整備や活用、自然・文化環境の保護・保全等を行う際に直面するであろう課題に対して、問題解決の一助となるよう専門家の立場から意見を述べその方向性を示す。
- ③ 流域住民に熊野川に関する情報を提供する。

(2) 構成

全体の構成は以下のとおりです。

- I. はじめに
- II. 熊野川流域の概要
- III. 流域の現状と課題
 - 1. 治水の現状と課題
 - 1.1 現状
 - 1.2 課題
 - 2. 利用・利水の現状と課題
 - 2.1 現状
 - 2.2 課題
 - 3. 自然環境の現状と課題
 - 3.1 現状
 - 3.2 課題
 - 4. 社会環境の現状と課題
 - 4.1 現状
 - 4.2 課題
- IV. 整備計画の策定に向けて
- V. まとめ

2. 「I. はじめに」について

懇談会および作成に至るまでの経緯をまとめ、目的、作成に込めた想いや活用方法について示します。項目としては以下の内容が考えられます。

- 例)・熊野川の特徴
- ・熊野川懇談会の活動概要
- ・作成に至るまでの経緯
- ・熊野川への想い、感想等
- ・作成の目的
- ・各章の位置づけ
- ・本書の活用方法
- ・キャッチフレーズの説明
- ・その他

3. 「II. 熊野川流域の概要」について

熊野川の特徴や流域の自然環境、歴史文化を含む社会環境の概要について示します。項目としては以下の内容が考えられます。

- 例)・熊野川流域の諸元(流路延長、流域面積、支川等)
- ・地形・地勢・地質、
- ・流域の社会環境(関連市町村、人口、世帯数、産業等)
- ・歴史・文化(世界遺産(熊野古道)、史跡、逸話等)
- ・流域の自然環境(気象、植生、希少生息種、自然公園等)
- ・治水の概要(降雨特性、これまでの被害、流況、治水事業の歴史等)
- ・流域の水利用(農業用水、発電用水、ダム)の歴史)
- ・河川利用(舟運、輸送、観光利用等)
- ・その他

4. 「IV. 整備計画の策定に向けて」について

直轄区間を対象とした河川整備計画の原案(叩き台)作成に当たっての留意点を、治水・利水・環境の3分野に分けて示します。項目としては以下の内容が考えられます。

- 例)・熊野川(直轄管理区間)の特徴(現状)
- ・重要と考えられる問題点
- ・あるべき姿
- ・目指すべき姿
- ・当面の熊野川の整備における基本的な考え方
- ・河川整備計画の原案(叩き台)作成に当たっての留意点
- ・その他

5. 「V まとめ」について

完成までの審議内容や、課題を通して見られた熊野川の特徴、今後の河川整備への協力のお願い等を示します。項目としては以下の内容が考えられます。

- 例)・完成までの審議内容
- ・熊野川の特徴
 - ・熊野川が抱える課題
 - ・熊野川の可能性
 - ・熊野川整備への協力のお願い
 - ・お礼
 - ・その他

6. 作成担当について

これまでの審議における、作成担当者は下表のとおりです。

<担当者一覧表>

項目	担当委員	備考
I. はじめに	椎葉委員長	
II. 熊野川流域の概要	椎葉委員長	
III. 流域の現状と課題	課題担当委員	作成済み
IV. 整備計画の策定に向けて	全体 : 椎葉委員長 治水 : 椎葉委員長 利用・利水 : 木本委員 自然環境 : 瀧野委員 社会環境 : 橋本委員、山本委員	
V. まとめ	椎葉委員長	